

## は し が き

石川県統計書は、明治13年刊行以来現在まで、回を重ねること93回に及びました。

本書は、本県の人口、経済、社会及び文化など、あらゆる分野にわたる、基本的な統計資料を総合的に集録し、県勢振興のための基礎資料を提供するとともに、広く一般の利用に資することを目的としたものであります。

編集にあたっては、最新の資料と内容整備に努めましたが、利用者各位のご批判を仰ぎ、よりよい総合統計書として改善充実をはかって参りたいと存じます。

発刊にあたり、貴重な資料を提供していただきました関係各位に対し、謝意を表しますとともに、今後とも一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和 52 年 3 月

石川県企画開発部長 高 見 隆

## 利用者のために

- 1 資料は、昭和50年の事実に基づき、主として官公庁から集録したが、調査周期のあるものについては、その調査の最近時のものを使用した。
- 2 統計表中、年次とは、暦年（1月～12月）をいい、年度とは、会計年度（4月～翌年3月）をいう。
- 3 統計表における数字の単位未満は、四捨五入を原則としたので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。
- 4 統計表中、符号の用法は、次のとおりである。

0	.....	単位未満の数字
—	.....	皆無又は該当数字なし
...	.....	該当数字不詳
x	.....	該当数字はあるが、発表することに差し支えのあるもの
△	.....	減少
- 5 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は、脚注にした。

# 総 目 次

	頁
1 土 地 .....	2
2 気 象 .....	12
3 人 口 .....	16
4 事 業 所 .....	28
5 農 業 .....	48
6 林 業 .....	66
7 水 産 業 .....	74
8 鉱 工 業 .....	104
9 電気、ガス及び水道 .....	124
10 運 輸 及 び 通 信 .....	128
11 商 業 及 び 貿 易 .....	142
12 金 融 及 び 財 政 .....	154
13 物 価 .....	166
14 労 働 及 び 賃 金 .....	189
15 家 計 .....	214
16 県 民 所 得 .....	216
17 建 築 及 び 住 宅 .....	218
18 公 務 員 及 び 選 挙 .....	222
19 教 育 .....	224
20 文 化 及 び 宗 教 .....	240
21 社 会 保 障 .....	248
22 衛 生 及 び 環 境 .....	262
23 災 害 及 び 事 故 .....	282
24 司 法 及 び 警 察 .....	296
25 観 光 .....	305
付 録	
1 都道府県勢一覧 .....	322
2 石川県史概要 .....	330
3 歴 代 知 事 .....	343
4 歴代県議会議長 .....	344

統 計 表 目 次

1 土 地

1 位 置…………… 2

2 沿 革…………… 2

(1) 明治以前…………… 2

(2) 藩県の廃置分合…………… 3

(3) 市郡町村の分離合併…………… 3

3 面積及び市町村数…………… 9

4 湖 沼…………… 9

5 島 し ょ…………… 9

6 山 岳…………… 10

7 河 川…………… 10

8 民 有 地…………… 10

2 気 象

9 金沢地方气象台…………… 12

(1) 昭和50年の気象…………… 12

(2) 平年の値…………… 12

10 輪島測候所…………… 14

(1) 昭和50年の気象…………… 14

(2) 平年の値…………… 14

3 人 口

11 人口及び世帯数の推移…………… 16

12 人口集中地区別人口、面積及び人口密度…………… 17

13 市町村別人口及び世帯数…………… 18

14 人口自然動態…………… 20

(1) 人口自然動態の推移…………… 20

(2) 月別人口自然動態…………… 22

(3) 市郡別、月別出生数…………… 22

(4) 死 亡 数…………… 24

ア 市郡別、月別死亡数…………… 24

イ 月別、年齢階級別死亡数…………… 24

(5) 市郡別、月別婚姻件数…………… 26

(6) 市郡別、月別離婚件数…………… 26

(7) 市郡別、月別死産胎数…………… 26

15 人口動態統計…………… 27

16 市郡別居住外国人登録状況…………… 27

4 事 業 所

17 産業（大分類）、経営組織別事業所数…………… 28

18 産業（大分類）、経営組織別従業者数…………… 28

19 産業（大分類）別事業所数の比較…………… 29

20 産業（大分類）別従業者数の比較…………… 29

21 地区（市郡）別事業所数の比較…………… 30

22 地区（市郡）別従業者数の比較…………… 30

23 従業者規模別事業所数の比較（民営）…………… 31

24 事業所の従業者規模別従業者数の比較（民営）…………… 31

25 産業（大分類）、従業者上の地位別従業者数…………… 31

26 市町村、民営・国営・公営・公共企業体、産業（大分類）別事業所数及び従業者数…………… 32

27 産業（中分類）従業者規模別事業所数及び従業者数（民営）…………… 40

28 法人企業の経営状況…………… 44

(1) 資産、負債及び資本（県内本社法人）…………… 44

(2) 損益計算…………… 46

(3) 営業費用…………… 46

(4) 設備投資（購入取得額）…………… 46

(5) 設備投資（減価償却額）…………… 47

5 農 業

29 市町村別農家数…………… 48

(1) 専業・兼業別、自小作別農家数…………… 48

(2) 経営耕地面積規模別農家数…………… 49

30 市町村別農家人口及び農業就業人口…………… 50

31 市町村別土地面積…………… 51

32 市町村別農作物生産量…………… 52

(1) 米、小麦及び大麦…………… 52

(2) い も 類…………… 53

(3) 豆 類…………… 53

(4) 野 菜…………… 54

(5) 果 樹…………… 58

(6) 工芸農作物…………… 59

33 市郡別桑園面積、養蚕戸数及び収繭量…………… 60

34 家畜飼養頭羽数…………… 60

35 成鶏めす羽数及び産卵量…………… 60

36 生乳生産量及び処理量…………… 60

37 市郡別農用機械保有台数…………… 61

38 農家経済…………… 62

(1) 農家経済の総括…………… 62

(2) 農業粗収益及び農業経営費…………… 64

(3) 農外収入、租税公課諸負担及び家計費…………… 65

6 林 業

39 市町村別、所有形態別林野面積…………… 66

40 市郡別、保有形態別保安林面積…………… 68

41 市郡別、用途別公私有林野伐採面積…………… 70

42 市郡別、用途別公私有林野伐採数量…………… 72

43 市郡別、品目別公私有林野副産物数量…………… 72

7 水 産 業

44 漁業経営…………… 74

(1) 経営体数…………… 74

ア 主な漁業種類別経営体数…………… 74

イ 経営組織別経営体数…………… 76

ウ 漁業の海上作業従事日数別経営体数…………… 76

(2) 漁業地区別、階層別経営体数…………… 78

(3) 経営組織別経営体数…………… 79

(4) 漁船隻数…………… 79

45 漁業生産手段…………… 80

(1) 漁船隻数…………… 80

(2) 動力漁船トン数…………… 80

46 一般海面漁業種類別、規模別漁獲量…………… 82

47 魚種別漁獲量…………… 86

(1) 漁業種類別、魚種別漁獲量（属人）…………… 86

(2) 漁業地区別、魚種別水揚量（属地）…………… 94

48 海面養殖業の養殖方法別経営体数、施設数及び収穫量…………… 102

49 内水面漁業魚種別漁獲量…………… 102

50 販売用水産加工品、品目別生産量…………… 103

8 鉱 工 業

51 業種別鉱工業生産指数…………… 104

52 製品別工業生産動態…………… 106

(1) 織 物…………… 106

(2) その他の繊維製品、繊維機械、雑貨等…………… 110

53 製 造 業…………… 112

(1) 産業別事業所、従業者数、出荷額等及びその構成比（全事業所）…………… 112

(2) 規模別事業所、従業者数、出荷額等及びその構成比（全事業所）…………… 113

(3) 産業別事業所、従業者数、出荷額等の累年比較（全事業所）…………… 112

(4) 規模別、産業別事業所、従業者数、支出及び出荷額等…………… 114

総 計（従業者20人以上の事務所）…………… 114

(ア) 従業者20人～29人の事業所…………… 116

(イ) 従業者30人～49人の事業所…………… 116

(ウ) 従業者50人～99人の事業所…………… 118

(エ) 従業者100人～199人の事業所…………… 118

(オ) 従業者200人～299人の事業所…………… 120

(カ) 従業者300人以上の事業所…………… 120

54 鉱 業…………… 122

(1) 稼動鉱山一覧表…………… 122

(2) 能登半島における珪藻泥岩の地区別推定埋蔵量…………… 122

55 専 売 品…………… 123

(1) 葉たばこ収納、たばこ製造、製造たばこ売渡、塩収納売渡額…………… 123

(2) たばこ販売関係係勢表…………… 123

9 電 気、ガ ス 及 び 水 道

56 発 電 所…………… 124

57 発受電力量…………… 124

58 水系別包蔵水力…………… 125

59 産業別大口電力需要状況…………… 125

60 ガス（製造量、購入量、供給量及び配ガス戸数）…………… 126

61 上水道（給水戸数、給水人口及び実績年間給水量）…………… 126

62 簡易水道…………… 127

(1) 給水人口、給水量及び給水状況…………… 127

(2) 昭和50年度中に竣工のもの…………… 127

10 運 輸 及 び 通 信

63 道 路…………… 128

(1) 国道及び県道…………… 128

(2) 市町村道…………… 128

64 国有鉄道駅別運輸実績…………… 130

65 私有鉄道運輸実績…………… 132

66 航空輸送状況…………… 132

67 自 動 車…………… 134

(1) 市郡別、車種別車輛数…………… 134

(2) 旅客自動車輸送実績…………… 134

(3) 乗合自動車輸送実績…………… 136

68 港湾及び船舶…………… 136

(1) 港湾及び入港船舶…………… 136

(2) 船 舶 数…………… 136

(3) 定期船客貨輸送量…………… 136

69 普通営業倉庫使用状況…………… 138

70 電報電話…………… 138

(1) 局 所 数…………… 138

(2) 開通電話及び公衆電話数…………… 138

(3) 電話機数…………… 140

(4) 国内有料発信電報通数及び有料発信市外通話度数…………… 140

(5) 有線放送電話設備設置状況…………… 140

(6) 有線放送設備設置状況…………… 140

71 郵 便…………… 141

(1) 市郡別施設数…………… 141

(2) 普通通常郵便物数…………… 141

(3) 特殊通常郵便物数…………… 141

(4) 小包郵便物数…………… 141

11 商 業 及 び 貿 易





## 7 目 次

(8)	郷土料理	311
200	文 化 財	312
(1)	国及び県指定文化財一覧表	312
(2)	国 指 定	312
	ア 国 宝	312
	イ 重要文化財	312
	ウ 重要無形文化財	314
	エ 特別天然記念物	314
	オ 史跡・名勝・天然記念物	315
	カ 重要民族文化財	315
(3)	県 指 定	316
	ア 有形文化財	316
	イ 無形文化財	318
	ウ 有形民族文化財	318
	エ 無形民族文化財	318
	オ 史跡・名勝・天然記念物	319

## 付 録

1	都道府県勢一覧	322
2	石川県史概要	330
3	歴代知事	343
4	歴代県議会議長	344



昭和50年6月1日 小松市の一部と加賀市の一部とを交換  
 昭和50年9月1日 小松市の一部と加賀市の一部とを交換

### 輪 島 市

昭和29年3月31日 鳳至郡輪島町、西保村、大屋村、河原田村、鶴巣村、南志見村、三井村を  
 廃しその区域をもって輪島市を置く  
 昭和31年9月30日 鳳至郡町野町を市域に編入す

### 珠 洲 市

昭和29年7月15日 珠洲郡飯田町、宝立町、正院町、上戸町、若山村、直村、三崎村、西海村、  
 蛸島村を廃し、その区域をもって珠洲市を置く

### 加 賀 市

昭和33年1月1日 江沼郡大聖寺町、山代町、片山津町、動橋町、橋立町、三木村、三谷村、  
 南郷村、塩屋村を廃し、その区域をもって加賀市を置く  
 昭和35年7月1日 江沼郡山中町の河南町、別所町、荒木町を市域に編入す  
 昭和50年6月1日 小松市の一部と加賀市の一部とを交換  
 昭和50年9月1日 小松市の一部と加賀市の一部とを交換

### 羽 咋 市

昭和33年7月1日 羽咋郡羽咋町を市とす  
 昭和41年8月1日 羽咋郡志雄町の一部を市域に編入す  
 昭和47年5月1日 羽咋市の一部と鹿島郡鹿西町の一部とを交換  
 昭和50年9月1日 羽咋市の一部を羽咋郡志賀町に編入

### 松 任 市

昭和45年10月10日 石川郡松任町を市とす

### 江 沼 郡

大正2年2月15日 山中村を町とす  
 大正2年3月10日 山代村を町とす  
 昭和5年1月1日 黒崎村、橋立村を廃し、その区域をもって橋立村を置く  
 昭和10年6月15日 福田村を廃し、大聖寺町に編入す  
 昭和17年5月5日 庄村を廃し、山代町に編入す  
 昭和17年11月3日 作見村、塩津村を廃し、その区域をもって片山津町を置く  
 昭和22年11月3日 動橋村を町とす  
 昭和27年6月10日 橋立村を町とす  
 昭和29年3月10日 瀬越村を廃し、大聖寺町に編入す  
 昭和29年3月31日 篠原村を廃し、片山津町に編入す  
 昭和29年11月3日 分校村、動橋町を廃し、その区域をもって動橋町を置く  
 昭和30年1月20日 山代町、勅使村、東谷口村を廃し、その区域をもって山代町を置く  
 昭和30年4月1日 月津村（字柴山）を片山津町に編入す  
 昭和30年4月1日 山中町、河南村、西谷村、東谷奥村を廃し、その区域をもって山中町を置く  
 昭和30年4月1日 矢田野村、那谷村、月津村（字柴山を除く。）を小松市に編入す  
 昭和33年1月1日 大聖寺町、山代町、片山津町、動橋町、橋立町、三木村、三谷村、南郷村、  
 塩屋村を廃し、その区域をもって加賀市を置く  
 昭和35年7月1日 山中町の河南町、別所町、荒木町を加賀市に編入す

### 能 美 郡

明治24年11月24日 粟生村（字三道山、字東任田、字西任田、字吉光、字赤井）、湊村（字吉原）  
 を廃し、その区域をもって吉田村を置く

明治40年8月5日  
 明治40年8月5日

大正15年6月1日  
 昭和9年4月1日  
 昭和15年12月1日

昭和24年6月1日  
 昭和29年11月1日  
 昭和30年4月1日  
 昭和31年9月30日

昭和39年4月1日  
 昭和42年11月1日  
 昭和45年7月1日  
 昭和45年10月9日

### 石 川 郡

大正9年6月1日  
 大正13年7月1日  
 大正14年4月1日  
 大正14年4月10日  
 昭和9年7月15日  
 昭和10年12月16日  
 昭和11年4月1日  
 昭和18年10月1日  
 昭和18年12月1日  
 昭和24年6月1日  
 昭和26年4月1日

昭和26年8月25日  
 昭和29年7月1日  
 昭和29年11月1日  
 昭和29年11月1日  
 昭和29年11月3日

湯野村、長野村、寺井村を廃し、その区域をもって寺井野村を置く  
 福江村、江島村、釜屋村を廃し、その区域をもって根上村を置く  
 串村、末佐美村、今江村を廃し、その区域をもって御幸村を置く  
 本折村、浅井村、蓮江村を廃し、その区域をもって苗代村を置く  
 木津村、粟津村を廃し、その区域をもって粟津村を置く  
 瀬谷村、大杉村を廃し、その区域をもって大杉谷村を置く  
 別宮村、河野村、吉原村を廃し、その区域をもって鳥越村を置く  
 里川村、古河村、国造村を廃し、その区域をもって国府村を置く  
 千針村（字金屋を除く。）高田村、田川村を廃し、その区域をもって板津村を置く  
 中島村、草深村、砂川村を廃し、その区域をもって川北村を置く  
 園江村、沖杉村、千針村（字金屋）を廃し、その区域をもって白江村を置く  
 山口村、宮内村を廃し、その区域をもって山上村を置く  
 寺井野村を町とす  
 根上村を町とす  
 小松町、安宅町、牧村、板津村、白江村、苗代村、御幸村、粟津村を廃し、その  
 区域をもって小松市を置く  
 白峰村、尾口村、鳥越村を分離し石川郡へ編入す  
 湊村、石川郡美川町、蝶屋村を廃し、その区域をもって石川郡美川町を置く  
 中海村を廃し、小松市に編入す  
 寺井野町、粟生村、吉田村（字三道山、吉光、東任田）久常村（字河原新保、  
 秋常、末寺）を廃し、その区域をもって寺井町を置く  
 吉田村（字吉原、西任田、赤井）を廃し、根上町に編入す  
 山上村、久常村（字徳久、高座、下清水、上清水、北市）、国府村（宇和気、鍋  
 谷、金剛寺、坪野、寺畠、館、仏大寺）を廃し、その区域をもって辰口町を置く  
 金野村、西尾村、新丸村、大杉谷村、国府村（宇遊泉寺、鶴川、立明寺、埴田、  
 古府、小野、河田、里川、上八里、下八里）を廃し、小松市に編入す  
 辰口町の一部と寺井町の一部とを交換  
 川北村の一部と石川郡鶴来町の一部とを交換  
 辰口町の一部と寺井町の一部とを交換  
 石川郡松任町の一部を川北村に編入す

上金石町を金石町と改称す  
 野々市村を町とす  
 野村を廃し、金沢市に編入す  
 弓取村を廃し、金沢市に編入す  
 比楽島村、福留村を廃し、その区域をもって石川村を置く  
 大野町、富樫村、米丸村、鞍月村、潟津村、栗ヶ崎村を廃し、金沢市に編入す  
 崎浦村、三馬村を廃し、金沢市に編入す  
 戸板村を廃し、金沢市に編入す  
 金石町、二塚村、大野村を廃し、金沢市に編入す  
 能美郡白峰村、尾口村、鳥越村を本郡に編入す  
 河内村から宇中島、字白山、字三宮、字八幡、字石切小原の区域を分離し、  
 この区域をもって一ノ宮村を置く  
 旭村字相木の区域を、松任町に編入す  
 額村、安原村、内川村、犀川村、湯涌谷村を廃し、金沢市に編入す  
 美川町、蝶屋村、能美郡湊村を廃し、その区域をもって美川町を置く  
 鶴来町、林村、蔵山村、一ノ宮村、館畑村を廃し、その区域をもって鶴来町を置く  
 松任町、石川村、柏野村、笠間村、富奥村、一木村、出城村、御手洗村、旭村、









10 輪 島 測 候 所 (昭和50年分)

(東経136° 54' 北緯37° 23' 海拔5.3m)

(1) 昭 和 50 年 の 気 象

初雪49年11月24日、終雪50年3月25日、初霜49年12月2日、終霜50年4月11日

Table with columns for year/month, average pressure, temperature (average/maximum/minimum), humidity, precipitation (total/daily max), snowfall (total/daily max), sunshine, wind (average/max/leftward direction), and weather statistics (highest/lowest temperature, snow accumulation, precipitation, strong wind, clear days, cloudy days, no sun, lightning, snow, and seismic activity).

注1 1)の気圧は、温度、重力、海面補正を施した値である。
2)の日照時間は、太陽が雲霧におおわれず地上を照した時間である。
3)、4)の快晴及び曇天日数は昭和46年より、平均曇量0.0~1.4を快晴、8.5~10.0を曇天とすることに改正された。
2 積雪量、積雪日数、雪の初終日及び霜の初終日は寒候期(前年11月~当年3月)の値である。

(2) 平 年 の 値 (1941~1970年の30年間の平均)

初雪11月29日、終雪3月31日、初霜11月23日、終霜4月20日

Table with columns for year/month, average pressure, temperature (average/maximum/minimum), humidity, precipitation (total/daily max), snowfall (total/daily max), sunshine, wind (average/max/leftward direction), and weather statistics (highest/lowest temperature, snow accumulation, precipitation, strong wind, clear days, cloudy days, no sun, lightning, snow, and seismic activity).

注1 1)の気圧は、温度、重力、海面補正を施した値である。
2)の日照時間は、太陽が雲霧におおわれず地上を照した時間である。
3)、4)の快晴及び曇天日数は、平均曇量0.0~2.4を快晴、7.5~10.0を曇天とした日数である。
2 積雪量、積雪日数、雪の初終日及び霜の初終日は寒候期(前年11月~当年3月)の値である。
3 風の平均(m/s)は、1961~1970年の10年間の平均値である。

資料 輪島測候所「石川県気象月報」による。



















































































































































































































































































































